

「マケドニア人の幻」

2016年07月05日

使徒言行録 16章 6節～10節。さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を通過して行った。ミシア地方の近くまで行き、ビティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通過してトロアスに下った。その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と言ってパウロに願った。パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神がわたしたちを召されているのだと、確信するに至ったからである。

パウロとシラス、それに青年テモテが加わり、三人は次の宣教地に向かった。アジア州での宣教を聖霊に禁じられたので、フリギア・ガラテヤ州を通過してミシア地方の近くまで来た。ミシア州は、現在のトルコの西部である。パウロは、第一宣教旅行でクリスチャンになったデルベ、リストラの信者たちを問安し励まし、トルコを横断して西部まで来たのである。ここから、ビティニア州に行こうとしたが、主イエスの霊が許さなかったという。アジア州には「聖霊から禁じられた」、ビティニア州には「イエスの霊がそれを許さなかった」と二度、行くことを禁止されたと書かれている。なぜ、禁止されたのであろうか。パウロは、マラリアのような突然発熱する風土病に罹ったことがあった。アジア州、ビティニア州は、パウロの健康に良くない気候であったので、行くことを断念したという説がある。この断念が、パウロをヨーロッパ宣教に導くことになり、キリスト教が世界に羽ばたく要因になった。霊に禁じられたことは、まさに、神のご意志であったと言える。

ミシア地方を通過してトロアスに辿り着いた。トロアスはエーゲ海に面したトルコ最西部の港町である。トロアスで、パウロは夜、一人のマケドニア人の幻を見た。幻はパウロに対し「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と懇願した。トルコからエーゲ海を渡り、マケドニア州、即ち、ギリシアに来て、宣教してくださいという要望である。幻の人は「ルカ」ではないかという説がある。次節に「パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした」と書かれている。パウロたちを「彼らは」から「わたしたちは」に変えている。使徒言行録を書いたと伝承されたルカを含むパウロたち一行を「わたしたちは」と表現したように読めるからである。ルカは、コロサイ書 4章 14節で「愛する医者ルカ」と書かれている。彼はギリシア人の医者で、パウロとは親しく同行し、病弱なパウロを支えていたのではないかと思える。パウロの力強く素晴らしい宣教力を知るルカがギリシア宣教をお願いしたのではないか。

パウロは幻の要望に応え、マケドニアに行くことを決意する。マケドニア人に主イエスの福音を告げ知らせるために、神が召しておられることを確信したからである。

横浜港南台教会員でツアーを組み、「パウロに学ぶ トルコ・ギリシア旅行」に出かけた。私は、トロアスに行ってみたくて、旅行会社に頼んだ。誰も行かないような田舎道をバスで数時間走り、トロアスに夕方辿り着いた。昔、港があったような雰囲気であったが、何もない海岸であった。ここからパウロたちは船出したのかと、感無量であった。幻の要望に応えたパウロたちの決意によって、ヨーロッパ伝道の起点となり、キリスト教を世界へと進展させたトロアスは、私には記念すべき町に思える。